

令和2年度 第3回栗東市男女共同参画社会づくり推進協議会
議事概要

日 時	令和2年11月19日(木) AM10:00～		
場 所	市危機管理センター 大研修室		
出席者	(順不同敬称略) 【委員】 勝身真理子会長、森野公美子副会長、服部よし江委員、奥村よし子委員、池田隆委員、藤田アニコー委員 市長、栗東市男女共同参画社会づくり推進委員会幹事 【事務局】 市民政策部長、自治振興課 計画策定支援業者		
欠席者	7名	傍聴者	なし
議 題	①プラン(第6版)の素案について ②その他		
資 料	①栗東市ひとが輝くパートナープラン(栗東市男女共同参画プラン第6版) ②第2回男女共同参画社会づくり推進協議会での意見にかかる素案への反映について		

1. 開 会

2. 市民憲章、栗東市男女共同参画都市宣言朗読

3. あいさつ

会 長 コロナ禍の中で男女共同参画をめぐる課題が顕在化していると言われてい
る。この機に計画を改定するという事なので、男女共同参画の取組みをい
っそう加速する必要があるのではないか。今日は素案の審議をしていただく。
市の強みをいかに生かし、弱みをいかに強みに変えていくかということだと思
う。

例えば市の女性労働力率のM字カーブのいちばん深いところは、全国や県
よりも深い。このことは、女性の潜在力が大きく、経済成長のポテンシャル
が高いということでもある。市長のリーダーシップのもと、令和の時代を切

り拓く新しい計画となるよう、強く期待する。委員各位には、忌憚のないご意見を賜りたい。

野村市長 本日は、ご出席ありがとうございます。いよいよ冊子ができて、仏に魂を入れる作業となってきた。私は仏像をつくるが、一生懸命つくと、一日でできる。しかし、自分の思い入れがうまくいかないと、なかなか完成には至らない。ものをつくるというのは、そういうことだろうと思う。

新型コロナウイルス禍で本市でも新たな感染者が確認された。誰が感染してもおかしくない中、お互いを思いやれるような社会づくりに邁進したい。男女共同参画というが、重要なのは、その仕事や作業を互いに思いやっているかということだ。家族の役割を決めつけるのではなく、互いに思いやって生活していくことが大切なのだと思う。

この計画が皆様の思いを乗せて、思いやりをもって未来へ向けてがんばっていく指針となるよう、最後までお力添えをお願いいたします。

4. 協議事項

①プラン（第6版）素案について

<事務局よりプラン第6版について、主な変更点等を説明>

会 長 ただいまの件について、質問やご意見を。

副 会 長 コロナ禍に関し、全国的に広がりつつあるシトラスリボン運動がある。コロナ禍に関しての問題点を皆でよくしていこうという考えのもと、感染者や医療関係等を主な対象として取り組んでいる。それをこの計画の表には出さなくとも、念頭に置いていただきたい。

事 務 局 コロナ禍関係の女性への影響については、把握している。この計画に具体的な施策としてコロナ禍への対応は記載がないが、いくつか関連の状況は記載している。今後、社会がどう変わるか分からないので、変化を注視しながら計画を推進していきたい。

委 員 前回の委員の細かな意見を計画に反映することができている。
「目標値の状況」のところ、令和元年度の実績値が、前回の素案と異なっている部分があるが、どうしてか。

事務局 (前回、前々回と基準を合わせるため)「不明・無回答」を除いた数値に変えている。

委員 SDGsのロゴが入っているが、SDGsを知らない人もいるし、ロゴの文字も読みにくい。(最終ページに大きく記載されているので)「最終ページに記載」と追記してはどうか。

委員 M字カーブの底が深いことが課題としてあげられているが、私はこれを課題とは思わない。子どもを何年間か、みたいという気持ちは大事だと思う。M字をまっすぐにしたいという目標はよくないと思う。母親だからこそ、子どもと一緒にいることが、子育て的には大切だと思う。長時間保育・預かり保育などもあるが、子育てに専念したい人への支援も書いていただきたい。交流の場とか、子育て支援策に含まれているのかもしれないが、親子で行ける施設や親子でできることがあると、子育てしやすい。赤ちゃんを置いておいて働けるということが、子育てしやすいことだとは思わない。特にゼロ歳から3歳・5歳までは一緒にいたい人もいるだろうし、一緒にいたほうがその後の人生によいと思う。親子で行ける施設や場所を提供していただければありがたい。

SDGsについて気になるのは、栗東市男女共同参画都市宣言の最後に、「国際社会の一員として、ともに地球環境を守るまちをつくります」とあるのに、この計画では環境に関する記載が少ないし、取組みも見られないように思う。

会長 M字カーブについては、策定の趣旨のところにも記述があるように、それぞれのライフスタイルやライフステージに応じて、テレワークなどの多様な働き方が選択できるようにするということだと思う。子どもの割合が高い状況もあり安心して子育てできる環境づくりが大事。

事務局 具体的な施策の「安心して子育てできる環境づくり」の取組内容のひとつとして、講座や交流の場の提供等について触れている。現に、様々な取組を行っており、ここに含まれると考えている。

SDGsと地球環境との関連については、不勉強で申し訳ないが、教えていただけるとありがたい。

委員 なぜ男女共同参画都市宣言の最後に、地球環境を守るとあるのか知りたい。それがわかると、次のステップに行ける。無理にSDGsの環境に関する項

目を入れてほしいということではなく、なぜ宣言にあるのに、それに関する記載がないのかが気になる。市としても、なぜ宣言に入れたかを知ったほうがよい。

事務局 宣言が出された当時は、女性団体を中心に琵琶湖の環境を保護する運動が活発化していた流れもあって、入っているのだと思う。

委員 まさに石けん運動などは、女性ならではの運動なので、女性の力を生かせると思う。次の機会にでも（検討していただきたい）。

会長 「様々な分野における男女共同参画の推進」の部分で検討することもできるのではないか。

委員 タイトルも多様性を認めるという方向に見直していただいてよかった。

39 ページに「全体と通じた重要な視点」とあり、他にも「視点」という言葉が随所に出てくる。ここは本当に視点なのかと、ずっと考えていた。プランが目指す社会像をつくるために、様々な取組みをしていくということがベースにあって、そのために何をやるのかはすでに基本目標に表れている。あえて重要な視点が必要なのだろうか。

重要な視点で2点あげられているうちの一つ目が、前回の「性別にかかわらず個性と能力が十分に発揮できているか」から「発揮できている」に変えたのも理由があると思う。

私は、一つ目は目指す社会像で、二つ目は実感だと思う。視点というよりは目指す社会像ではないか。視点という言葉に違和感があった。

事務局 総合計画にもあるように、目指す姿がこうであるとよいということだと思う。視点という言い方がよいのかどうか、検討したい。

委員 ワーク・ライフ・バランスは基本目標2にあるのに、どうしてここに入れたのかとも思う。

事務局 ワーク・ライフ・バランスは、すべての基本になるという思いもある。子育てに集中したい、または子育てしながら働きたい、それぞれの望みを叶えること、それぞれの個性を発揮して仕事と家庭を充実させることは、男女共同参画において重要な視点だと思って付け加えた。

会 長 5年間の計画なので、5本の柱（基本目標）はあるが、その中で特に力を入れたいことという、市の意気込みかなと受け止めている。当該ページの冒頭の説明文をもう少ししていねいにすると、いまのご意見の回答になるのではないか。

委 員 前回の会議からかなり修正できている。改めて、細かい言葉ひとつでも慎重に選んで使わなければいけないと感じた。

会 長 38 ページの計画の関連図で、本プランと個別計画の関係がわかりにくい。少し工夫したらいかがか。

基本目標2の基本施策（1）「働く場における男女共同参画の推進」は、このプランが女性活躍推進法に基づく計画でもあるので、「働く場における男女共同参画・女性活躍の推進」にしてはいかがか。

「情報提供を行います」という表現が何か所かあるが、情報提供だけで終わってしまうのではなく、市民の理解を深めることが大切なので、書き方を工夫されてはいかがか。

「男女共同参画社会基本法」の趣旨の中では、特に参画に力を入れているので、プラン中の「参加」は「参画」で統一されたほうがよい。

基本目標3の「参画と協働による地域づくり」の部分で、もう少し市民協働のイメージが色濃く出ると良いと思う。実際にプランを進めようとする、市民や事業者が我が事として主体となり、一緒に進めないと成果には結びつかない。具体的に動かしていくエンジンのような仕組みがないと、市だけで動かしていくのは市民の実感につながりにくいのでは。

市の取組みを形作るのはここからが本番なので、本番を動かすための仕組みも充実されたい。例えば、男女共同参画社会づくり推進委員会を推進本部という形でステージを上げて、各部長が構成員になった体制をつくれないうか。

成果目標と施策との関係性がよく見えない。できれば庁内体制のもとでアクションプランのような、5か年間こうして進めていくというものを市の内部で具体的に進めていただくと成果につながりやすいと思う。

②その他

事 務 局 いただいたご意見をもとに素案に修正を加え、（その確認は）会長と事務局にご一任いただき、市と市議会の会議で説明した後、12月23日からパブリックコメントを予定している。本日欠席の方には事前配布の資料をもとにご意見を伺い、その内容の反映を検討する。次回会議は年明け2月に予定している。

会 長 皆さま、様々なご意見を頂戴し、ありがとうございました。

副 会 長 新型コロナウイルスの感染が急増し、様々な問題が深刻化している。いままではコロナ禍の収束を期待していたが、これからは新型コロナウイルスと共存していく新生活の時代となる。全国に広がるシトラスリボン運動のように、栗東市民の皆さんが、未来に向けて知恵を絞りアイデアを出し合って、この苦境を乗り越える時期だと思う。そして力を合わせ支え合って誰もが自分らしく輝き、笑顔で安心して暮らせる社会の実現のために本プランが存分に発揮されることを切に願っている。ありがとうございました。

5. 閉会